2017～2018 年度　ROTARY　CLUB　OF　TOYOKAWA　HOI　CLUB　WEEKLY

ロータリー：変化をもたらす

やらまいか

クラブテーマ　：参加して、行動して、ロータリーを楽しむ　Let’s Enjoy Rotary

会長／大木健市　幹事／林　博宣　会報委員会／中西弘徳・宇野秀幸　例会／毎週火曜日 12：30　豊川商工会議所
事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内　℡0533-86-2535　Fax0533-86-8889　HP／http://toyokawahoi.tank.jp

本年度第４回　通算１４８８回 平成２９年７月２５日（火）	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	7/11 修正出席率
		６５名	４１名	６９．５%	１００%

ゲスト：市内６高校の生徒２３名　付添い教諭７名　　ビジター：(なし)

★会長あいさつ　　　　大木健市会長

皆さん、こんにちは。夏休み中の貴重な時間に生徒の皆さん、付添いの先生方にお越し頂き大変ありがとうございます。

ロータリー会員の皆さんには大切な報告があります。年次総会に向けた指名委員会が本日の理事会で承認されましたことをご報告します。

今日は、ボラン・コラボ・穂の国７としての高校生の皆さんに、ボランティア計画実施の発表と交流会を行います。

日本では、ボランティアのことを「奉仕活動」という言葉で表し、無償で地域や人々のために奉仕することをさしております。日本人は、昔から“五人組”とか“向こう三軒両隣”とか町内会、自治会、あるいは消防団と言った組織が組まれて、困っている人々を助けるといった慣習がありました。ですから、この組織以外の人が地域で奉仕活動するということは、少なかったと思います。

このボランティアの意識が一般の人々に強く芽生えだしたのは、1995 年１月におきた阪神淡路大震災の時のボランティア活動からでした。それ以降、災害や大きな事故等が発生するたびに、ボランティアの人たちの支援が大きく取り上げられ、社会への奉仕活動の素晴らしさを再認識することになりました。

現在では、スポーツイベントやお祭り、老人施設への訪問、公園等の手入れ、学校でのボランティアなどが行われております。この社会への奉仕の素晴らしさを高校生の皆さんにも理解して頂き、助け合うことの尊さを感じて頂ければと思います。さらに言えば、自らが手をあげて、社会の困難や不都合に立ち向かって行く勇気を持って頂く事を心より希望しております。

皆さんの発表を楽しみにしております。本日は、どうぞよろしくお願いします。

★幹事報告　　　　林　博宣幹事

例会臨時変更のお知らせ
答礼人形里帰り展について
九州北部地域豪雨のお見舞金募金について

★委員会報告

答礼人形里帰り展委員会（小野副委員長）
　7 月 14 日人形同窓会開催の報告
　7 月 19 日里帰り展オープニングの御礼

★青少年奉仕委員会担当例会

高校生ボランティア活動発表

◎委員長あいさつ　　杉浦元保委員長

本日の例会は青少年奉仕委員会が担当させて頂きます。本日、お集まり頂きました高校生の皆さん、夏休

みの貴重な時間をお借りすることを感謝申し上げます。また先生方におかれまして、お忙しい中を生徒さんの引率を頂きまして誠にありがとうございます。

本事業のボラン・コラボ・穂の国7は、2007年4月に高校生連絡協議会として発足しました。継続事業として、今年11年目を迎えております。毎年7月と3月に開催しております。

本例会では、豊川市内の6高校の生徒さん達によるボランティア活動の取組みについて発表を行って頂きます。例会後には、高校間の情報交換の場を設ける目的で交流会を開催します。

生徒さんにおかれましては、例会も含めて約2時間の貴重な時間を拝借することになりますが、よろしくお願いします。

我々ロータリアンにとっても、高校生たちの活動や考え方が良い刺激になると思います。最後までご清聴の程よろしくお願いします。

◎各学校への支援金の贈呈

各学校へ支援金の贈呈をさせて頂きました。

◎国府高校の発表

今から平成29年度、国府高校前期生徒会の活動報告及びこれからの進展について発表します。

私たち前期生徒会の活動では、クラスマッチ、文化祭の企画運営、地域のボラティア活動への参加があります。今回は、国府高校創立100周年に向けて、生徒会中心に行っている腐植の進んだポプラの再生活動とボランティア活動について報告します。

昨年から行っているポプラの再生活動について報告します。国府高校には、昔から伝わるポプラ並木があります。国府高校伝統の応援歌にも「そびえるポプラ、なびく草」という歌詞があるように国府高校のシンボルのような存在でした。しかし、現在のポプラ並木は、どこにあるのだろうかと思ってしまう程、減少しています。そこで、私たちはポプラ並木を復活させようと思い、専門の方に来て頂き、今年の3月に挿し木を行いました。現在は、プランターで育てており、毎日水やりをしています。まだ小さいポプラですが、いずれ私たちの身長を超え、誰もが国府高校のシンボルツリーだと思うような存在となってくれるでしょう。この活動は、昨年より引き継いだ活動であり、これから先も続いて行くので、きっとこれからのロータリーでの報告でも成長を伝える事でしょう。

次にゆうあいの里のボランティアについて報告をします。私たちは、ゆうあいの里に行って緑のカーテンを作るためにゴーヤを育てるプランターの準備を手伝いました。生徒にボランティアの募集を掛けたところ、例年よりとても多くの生徒が参加をしてくれました。今年の国府高校の生徒のボランティアに対する意識の高さを感じました。作業の途中には、施設の利用者様に「頑張って下さいね」と声を掛けて頂き、より一層頑張ろうと思う事も出来ました。

その他、ゆうあいの里のボランティア以外にも、これからの活動には文化祭などがあります。毎年12月には、生徒会主催で学校周辺の清掃も行っています。今年も多くの生徒が参加してくれることを願っています。国府高校生徒会は、これからも学校のために全力で頑張っていきたいと思っています。

◎小坂井高校の発表

平成29年度、小坂井高校ボランティア活動について報告します。私たち生徒会は6名で活動をしています。

本校には、行事ごとに生徒会執行部の呼び掛けで、参加者を募って活動をしています。本日は、4月からの4か月間で参加したボランティア活動の報告と、今後の予定しているボランティア活動についてお話します。

私は5月に豊橋善意フェスティバルに参加しました。参加理由は、生徒会役員としてボランティア活動を通し、幅広い年齢の方々と出会いたいという想いからでした。同じクラスの友人と2人1組になり、1人の年配の方と行動を共にしました。動物園や植物園に行ったり、地域の企業や学校のボランティアが運営するブースでゲームをしたりしました。一緒にゲームを楽しんだことが印象に残っています。その年配の方は車いすの利用者で、

車いすを押すという貴重な経験も出来ました。一緒に過ごした時間はあっという間で、私たち自身も楽しみながら回る事ができ、色んな人が「楽しかったよ」「ありがとう」と言って下さり、とても嬉しかったです。善意フェスティバルに参加したことで、たくさんの人と関わる事ができ、良い経験になりました。

5 月には、豊川市で開催された“おいでん祭”のボランティア活動を行いました。私たちは、都合がつかず参加することが出来ませんでしたが、参加した友人に話を聞いたところ、ボランティアを通して、初めて地域のために役に立っている自分がいると実感することが出来たという話や、高校生なりの小さな事しか貢献できなかったけど、地域のために何かをすることにやりがいを感じたと言う人もいました。私は、中学生の頃におおいでん祭ボランティアに参加したことがあります。その際に、会場のアンケート調査のお手伝いを行いました。様々な地域から来られている方が多く、地域の輪を超えたお祭りで、様々な人とふれあいをした時間はかけがえのないものであり、自分のコミュニケーション能力を高める一つの経験にもなりました。とても良い活動が出来たと思います。今年度に参加した生徒たちは、良い経験になったので是非また参加したいと言っていました。

次に、今年度私たちが予定しているボラティィア活動について紹介します。9 月に行われる本校の文化祭はぐま祭では、昨年度に引き続き、生徒会企画として東北復興支援と熊本復興支援を行いたいと思っています。昨年度と同様に、東北復興支援プロジェクト希望の輪の東北復興支援参加校として、学園祭プロジェクトに参加する予定です。昨年度は、募金活動だけでしたが、今年度から新たに熊本復興支援も出来るようになり、今年度からは、東北復興支援と同様に地元の物を販売し、復興支援をしたいと考えています。具体的には、東北の特産品である山葡萄サイダーやラスク、熊本の特産品である牛乳キャラメルやミカンチップスなどを販売し、その売り上げを寄付する予定です。昨年から続いている活動なので、ずっと続けて行きたいと思います。

毎年 12 月に行われている小坂井高校独自の活動であるクリーン大作戦も行いたいと考えています。クリーン大作戦とは、部活単位で清掃区域を決めて学校内や学校周辺の道路や通学路を清掃する活動です。学校内だけでなく、地域も綺麗にしたいと想いを持つ生徒たちが一致団結して清掃を行っています。参加することで、地域におけるボランティア活動の身近さを参加者全員が理解することができます。

このような活動をすることによって、ボランティア活動をするチャンスは、身近にあることを一人でも多くの人に知ってもらえるようにしたいです。また、本校のボランティア活動の充実のために、継続的に行って行きたいです。

私たち高校生は、今、情報メディアの発達により、他人との関わりが減ってきているのが現状です。しかし、他人にも関心を持って助け合うことが、今の私たちにとって一番大切な事だと思います。一人でも多くの人に、ボランティア活動などに積極的に参加してもらいながら自分を磨き、感謝の気持ちと心の豊かさを大切にしていってほしいと思います。以上で報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

◎豊川高校の発表

豊川高校が 1 年間行ってきたボランティア報告、並びに今後のボランティアの予定を発表します。

去年の夏に行いました豊川イオンの隣にあるケアハウス佐奈川でボランティア活動を行いました。このボランティアに参加させて頂き、夏祭りのお手伝いやお年寄りの車椅子を押したりなど、学校ではなかなか体験できないことが沢山でき、その他にも交流もすることができ、福祉介護系の勉強になり、とても良い時間を過ごしました。

去年の 11 月に、豊川保育園でイベントのスタッフを主に行いました。小さい子、大人など幅広い年代の方々と触れ合うことができ、これも学校では体験できないことができて、とても貴重な時間になりました。今年も是非参加したいと思っています。

豊川高校では、毎年数回、日頃お世話になっている地域の方々に形として恩返しをしたいということで、地域清掃を行っています。地域の方々とも交流できる素晴らしい活動で、恒例行事として今後とも続けて行きたいと思

っています。
清掃活動の一環として、登山部が毎年行っている本宮山清掃に一緒に行きました。本宮山清掃は、登山部が 2001 年からずっと行っている活動で、今回は顧問の先生に誘われたので参加しました。また機会があれば参加をしたいと思います。
毎年、テスト週間と日程がかぶって参加できませんでしたが、今年は日程外だったので今年 5 月においでん祭の衣料品回収とイベントコーナーのお手伝いに参加させて頂きました。使わなくなった衣料品を回収し、被災地や世界の難民の方に届けます。イベントコーナーでは、学園祭などの運営での経験を活かし、子ども達と一緒に竹ベイを作りました。衣料品回収では、冬物と夏物の区別がつかなくて苦戦しましたが、一緒にボランティアに参加してされていたベテランの方が教えて頂きました。例年に比べて、気温が高くてとても大変でしたが、普段の生活では経験のできない衣料品を分ける作業が出来て、将来のためになるとても良い経験をすることが出来ました。来年も活動に係わっていきたいと思っています。
1 億円募金ついてお話をします。今、公立高校と私立高校には授業料の格差があります。経済的な理由によって、学費が払えなくなってしまい、学校に通う事を諦めなくてはいけない生徒に、年間 12 万円の無利子の奨学金として貸し出す募金活動を 1 億円募金といいます。お金がなければ、公立に通えば良いと言う人もいるかもしれません。ただ、愛知県には公私両輪体制と言う体制があり、公立高校を受験する 3 人に 1 人が私立高校に入学しないといけない条件があります。なので、公立に希望する生徒が全員公立高校に通う事は出来ません。お金が払えなくて学校にいけなくなってしまう生徒を、少しでも無くすのが目標です。先月、初夏の集いというイベントで豊川高校と豊橋中央高校、名古屋地区の私立高校に通う生徒 4 人と一緒に合同で募金活動を行いました。このイベントの時には、2 万円を超す募金が集まりました。今後は、9 月 30 日、10 月 1 日に行われる学園祭でも、生徒会だけに限らず、本校の一般生徒も一緒に協力してもらい、募金活動をする予定です。
今後の活動としては、1 億円募金を自転車で行いたいと思っています。豊川高校には、新城から通っている人、名古屋から通っている人も沢山います。その生徒の保護者に豊川高校にもっと関心を持ってもらう目的と、色んな人に私学助成の事をしってもらいたいという事から、自分たちの足で新城や名古屋まで行き、1 億円募金をして、私立高校の力を示して行きたいと思います。
最後に、豊川高校は市内唯一の私立高校として、私立独自の動きだけではなく、地域密着を掲げた活動もおこなっていきたいと思います。今後は、私学助成に力を入れて活動していきたいと思います。これで報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

◎豊川工業高校の発表

今から豊川工業高校ボラティア部の発表を始めます。私たちは 1 年生 5 人、2 年生 7 人、3 年生 10 人の計 22 人で活動をしています。平日はほぼ毎日、休日は地域のボランティアに年間 30 回以上参加をしています。活動の様子は新聞時にも取り上げられています。
主な活動として、大きく分けて 3 つあります。1 つ目は、月に 1 度土曜日にプリオ生涯学習会館で行われる小学生対象のものづくり教室です。このボランティアは、地域の小学 1 年生から 6 年生の子ども達に、工作の楽しさや工具の使用方法を教える教室で、工業高校こともあり、私たちが指導員として豊川少年少女発明クラブの方たちと一緒にパーツの組み立て方などを教えています。このボランティアに参加することで、様々な体験談を聞く事が出来たり、地域のボランティアの方々や子ども達と交流を深める事ができ、とても勉強になっています。
2 つ目に、本校ボランティア部が主催しているキャンドルナイトについて説明します。準備として、夏休みを利用し、地元の保育園や小学校を訪問して、半紙にイラストや夢を書いてもらったり、子ども達と交流をしたりしています。9 月には、八南小学校の子ども達にマリンアートを作ってもらいます。マリンアートは、海ではゴミとなってしまう貝殻やガラスを再利用しています。作ってもらったマリンアートは、キャンドルナイトの時に、

文字の近くで飾ります。キャンドルナイトは、毎年、12 月に豊川市総合体育館広場で行われているイベントです。約 2 千本のキャンドルを使い、一つの文字を描きます。昨年は「和」という文字を描きました。今年の文字は「紅」に決定しました。この「紅」の文字には、他の色に染まらず自分たちの色を貫くという意味があります。私たちは、今ある活動を自分たちの色として貫いて行こうと思います。今年は 12 月 23 日（土）17 時から開催します。暗闇に光るキャンドルは、とても綺麗なので、ぜひ見に来て下さい。

3 つ目は、地域のボランティア活動です。おいでん祭では衣服を回収しアフリカの子ども達のために、仕分けをしてから畳みました。豊川リレーマラソンでは、走り終わった方々の写真を撮影したり、お疲れ様の言葉を掛けながらタスキの回収をしたりしました。その他にも、あしなが募金、夏祭りのボランティアなど 1 年間を通して様々な活動を行い、地域の役に少しでも立てるように日々頑張っています。これからも多くのボランティアに参加し、活動の幅が広げられたらいいなと思います。以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

◎宝陵高校の発表

平成 29 年度、宝陵高校ボランティア活動計画を報告します。

はじめには、本校のボランティア活動には、どう参加をすれば良いのか紹介します。まずは、ホームルームや昇降口にあるボランティア掲示板の募集を見ます。そして、申し込みの日時に集合します。担当の先生に承諾書を提出し、注意事項や心得を聞き、これで申し込みは完了です。後は、先生がボランティア先と連絡を取り申し込んでくれます。ボランティア活動実施するには、責任を伴います。私たちは、この心得を常に意識しボランティアに参加しています。

豊川リレーマラソンのボランティアでは、給水係や救護スタッフとして毎年参加しています。病院実習や学校で習った知識を活かす場となっており、今年は 15 名が参加をしました。

豊橋市の歩行者天国では、イベントスタッフとして 6 名が活動をしました。

ボランティアに参加するのは、とても楽しくためになると参加するたびに感じます。

既にボランティアの参加が決まっている施設は、喜寿苑、サマリヤの丘、みその、善意銀行、ゆうあいの里、みのり、オリーブ、ホタルの郷などがあります。福祉施設へのボランティアは、夏休み期間を利用し多くの生徒を予定しています。他には稲荷北デイサービスセンター、青少年ボランティア体験講座、秋桜の里、穂の国荘、豊川市平和祈念式典、自由の森、笑い太鼓、さながわ、あがたメディカルホームへのボランティアの参加が決まっています。夏祭りでは、入所者の方の車椅子移動や模擬店の手伝いをします。2 学期以降は、秋祭りやクリスマス会などのボランティアに参加する予定です。

本校のボランティア活動に参加すると、こんな特典があります。3 年間で 10 回以上参加すると、ボランティア功労者として表彰されます。また生徒会役員が中心となり、募金活動やエコキャップ運動、クリーン活動を行う予定です。生徒会役員が呼び掛けを行い、全校生徒で取り組んで行きます。

今年度のボランティア活動は始まったばかりですが、ボランティア体験のある私たちが、友だちや後輩にボランティアの楽しさや達成感を伝えて行こうと思っています。そして、今年のボランティア活動の結果は、次の交流会でお知らせ出来るように頑張りたいと思います。以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

◎御津高校の発表

僕たち生徒会は、2 年生 6 名で運営をしています。本日は 4 人が海外に留学に出ていて、1 人が演劇部の大会リハーサルで抜けられない状態で、僕だけが、この会に参加をさせて頂きます。たった 1 人ですが、よろしくお願いします。

御津高校生徒会は、4 月に新体制がスタートしました。最初の行事は、新入生に対しての部活動説明会で、会の進行をするだけでな

く、活動登録の仕方を寸劇で説明をしました。
4 月末に新入生歓迎クラスマッチを開催しました。昨年度までは、4 月と 3 月に開催をしていましたが、行事見直しで、今年度から 4 月のみとなりました。3 月に前年度の球技大会を開催したばかりで、準備がとても短く大変でした。
また行事見直しで、今年度から体育大会が 9 月から 6 月に移りました。5 月から準備して 6 月中旬に開催するハードスケジュールの中、先生方と協力してなんとか成功できました。
体育大会後は、中学生体験入学のための部活動紹介のビデオ撮影と、文化祭準備に励みました。文化祭では、毎年、全校生徒でモザイクアートを作っています。モザイクシートとシールを生徒に配布して作りました。
それと並行して野球応援の練習をしました。本校野球部は人数が少なく、全員がベンチ入りをするので、応援団がありません。3 年前から生徒会が有志応援団を結成し、野球応援の陣頭指揮を取ったり、エールを送っています。今年は執行部 6 人中 5 人が、海外留学の準備等で練習に参加出来ず、3 年生の旧生徒会のメンバーに応援の方をやって頂きました。今年は小牧市まで行き、例年に比べて少ない応援団でしたが、吹奏楽部やバトン部と協力して、一致団結した応援が出来ました。
終業式には、全国大会に出るバトン部と東海大会に出る水泳部に対して、壮行会を開きました。そこで、先ほどの旧生徒会の応援団がエールを送りました。水泳部が初めてインターハイ出場を決めたので、8 月にまた壮行会を行う予定です。
9 月には文化祭があり、後期生徒会選挙が行われます。後期生徒会は行事が少なく、11 月の赤い羽根募金、12 月の歳末助け合い募金、3 月ブラッシュアップ御津高という新入生の学校生活紹介の冊子を作る事しかありませんが、その分、校内の美化活動に励んでいます。その他行事以外は、さつき通信と言う生徒会新聞を毎月発行して、学校行事や部活等などで頑張っている人を紹介しています。その一部をＷｅｂで紹介しているので、ご覧ください。花壇の手入れも行っており、今年はひまわり、じゃがいも、さつまいも、枝豆を植えて育てています。
毎日、多忙な生徒会ですが、部活、学業と両立してみんなの模範となり、役に立てるような生徒会を目指して頑張って行きます。ご清聴ありがとうございました。

★交流会開催

例会後に交流会が開催されました。3 つのグループに分かれてテーブルディスカッションが行われました。

テーマ

「みんなで何かをやるとしたら、どんなことができるか？　どんなことがやりたいか？」

各テーブルから出た意見のまとめ

・色んな高校と話し合って共同で行う
・東三河の高校を集まって被災地へのボランティア活動を行う
・東三河の高校が集まって秋祭りをやる
・豊川市内の高校が集まって、一つの場所で合同の清掃活動を行う
・被災地支援などの募金などをみんなで行う
・被災地に行って、危険に備える知識を勉強して、地域の人たちに伝える
・被災支援の募金を共同で行い、直接その地域に届ける
・専門知識を勉強して、よりよい活動に取り組めるようにする
・清掃活動は、高校単位で範囲を決めて行い小学生も一緒に活動をする

★ニコニコボックス

杉浦元保会員　本日の例会を担当します

会報担当：中西弘徳会員・宇野秀幸会員